

しおさい



東通村の門打ち風景

CONTENTS

- 広報誌「しおさい」特別記念号の発刊にあたり：東通原子力発電所長 津幡 俊・・・2
- 「地元の特派員レポート」取材から5年を経て！
蛸名大和くん／佐藤梢さん／東田惣一さん3
- 「しおさい」表紙で感じる東通村の魅力4
- 郷土料理「べこもち」カン・タン！レシピ!!6
- 編集後記～番外編～7
- クイズ！なるほど「ザ・方言」7
- エネルギー 一口メモ8
- 読者からの声8

特 別 記 念 号

vol.10
平成22年12月発行

東北電力(株)東通原子力発電所

広報誌『しおさい』特別記念号の発刊にあたり

東北電力東通原子力発電所広報誌『しおさい』は、おかげさまで第10号を迎えることとなりました。この『しおさい』は、東通村の素晴らしさを皆さまと共有するとともに、その良さを未来へ引き継いでいきたいとの思いから年2回制作しています。10回目の節目にあたる今回は特別記念号と位置づけ、これまでを振り返りながら発行いたしました。平成18年の創刊以来、5年間継続できたことは、ひとえに皆さまからのあたたかい励ましと貴重なご意見の賜物であると深く感謝しております。

さて、今回の特別記念号では、「表紙で感じる東通村の魅力」と題し、東通村の風景や風物詩をイラストで表現したこれまでの『しおさい』の表紙をふり返し、写真と一緒に掲載しました。これは、普段何気なく接している私たちの郷土には、素晴らしい資源が眠っているということを再認識するとともに、自然豊かな東通村の四季の移り変わりを皆さまと共有したいとの思いで掲載したものです。

また、今回は別冊として、代々受け継がれている能舞を始めとした、国・県の無形民俗文化財に指定されている民俗芸能を特集しました。地域の誇りである民俗芸能を皆さまと一緒に未来へ引き継いでいきたいとの思いから、各演目について写真を付して解説しています。これからも東通村の皆さまにとって、より親近感を持っていただける誌面づくりに努めるとともに、喜んでいただけるような広報誌を目指してまいります。

最後に、東通原子力発電所が平成17年の営業運転開始以来、安全・安定運転を継続できていることは、地域の皆さまのご理解とご協力のおかげと深く感謝しております。今後も皆さまに安心をお届けできるよう、安全最優先に努めてまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



東北電力株式会社

執行役員

東通原子力発電所長 津 幡 俊

「地元の特派員レポート」取材から5年を経て!



東通村各地の皆さまから心温まる情報をお届けする村民参加型のページ「地元の特派員レポート」。「次世代層、青年層、熟年層」の各層から特派員の目線で、東通村の特派員の「やすらぎ、ときめき、驚き、感動」を、自由な発想でレポートしてもらっているコーナーです。

創刊から5年が経過し、第1号特派員がレポートした内容は、その後どのように変化していったのでしょうか? 「やすらぎ、ときめき、驚き、感動」は5年が経過した今どのように写っているのでしょうか? また、特派員自身も5年が経過したことで、東通村との関わりに変化はあったのでしょうか?

あれから5年

東通村老部在住 東通中学校(3年) 蛸名 えびな やまと 大和くん(15歳)

僕は5年前の小学校5年生の時、老部の両皇神社を取材しました。当時は取材をしながら、神社の歴史を調べたりしましたが、古かった神社が今は新しく建て替えられて、立派になりました。

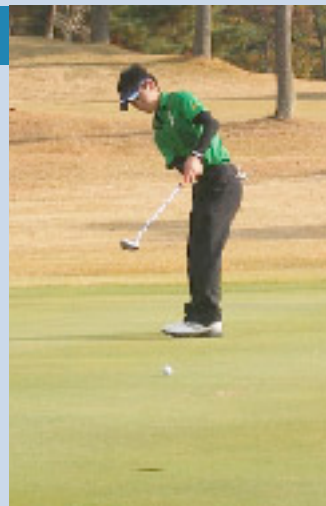
あれから5年が経ち、僕も中学3年生になりました。平成20年度には村内に3校あった中学校が統合され、新しい校舎と新しい友達と一緒に、充実した毎日を送っています。

現在の僕はゴルフを頑張っています。今年の8月に行われた東北大会では優勝することができました。5年前には全国大会に行けるとは思いませんでした。今では全国各地に友達ができ、ライバルとして競い合っています。

学校での勉強や部活動との両立は大変でしたが、周りの皆に助けられたから頑張ってきたと思います。中学校を卒業し、高校へ行っても、ゴルフを頑張りたいと思います。



当時の蛸名くん



集中し打ちこむ蛸名くん

よさこいと共に

〈当時〉東通村介護老人保健施設 野花菖蒲の里勤務 佐藤 さとう こずえ 梢さん(31歳)

私は5年前、東通村の介護老人保健施設「野花菖蒲の里」に勤務していたことから、元気なおばあちゃん達を紹介したいと思い、「寺っこ」を訪れて取材しました。当時は、笑い声が絶えず元気なおばあちゃん達に感激した私ですが、現在も変わらず活動し、皆さんお元気で賑やかに過ごしていると聞き、パワフルなおばあちゃん達にさらに感激!! しました。本当に、お元気でなによりです。

今は結婚をして東通村には住んでいませんが、当時から参加している東通村よさこいチーム「和心伝心」にメンバーとして参加しています。5年が経過した今でも、毎年8月に行われる「ひがしどおり来さまいフェスタ」を始め、色々なイベントに出場しています。村を離れてしまいましたが、自分が生まれ育った所は常に心の中にあるものです。「美しい自然・素晴らしい伝統芸能・豊かな食材」など東通村の素敵な魅力を、よさこいを通じて伝えていけたらと思います。



当時の佐藤さん



よさこいで華麗に舞う佐藤さん

充実した日々

ひかしだ そういち 東通村白糠在住 東田 惣一さん(74歳)

わたしは、当時83歳で現役漁師の沢頭三平さん取材しました。

あれから5年、沢頭さんは88歳。今年の春先までサクラマス漁をしていたそうです。

まだまだ足腰も丈夫ですが、寄る歳にかなわず、船を息子に譲り、船から降りる事になったそうです。沢頭さんはその船の管理を今でもしているそうで、自宅から漁港まで散歩がてらに船の状態を見に行っているそうです。漁場には行かないまでも、陸で出来ることはいろいろあるようで、今でも元気な姿をみて、とても和やかな気持ちになりました。

わたしは現在、東通村社会福祉協議会に勤務しており、高齢者のお世話をしたりしています。また、東通村子ども会育成連合会の顧問として、様々なイベント等にサポート役として参加し、協力しながら充実した日々を送っています。今後も沢頭三平さんのように、この東通村でいつまでも健康で、笑顔で皆さんに協力できればと思っています。



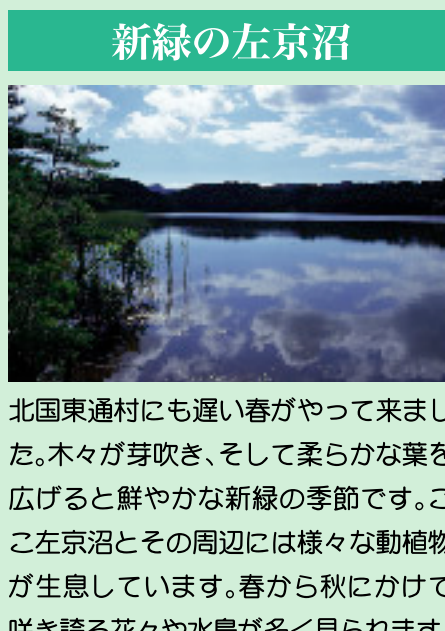
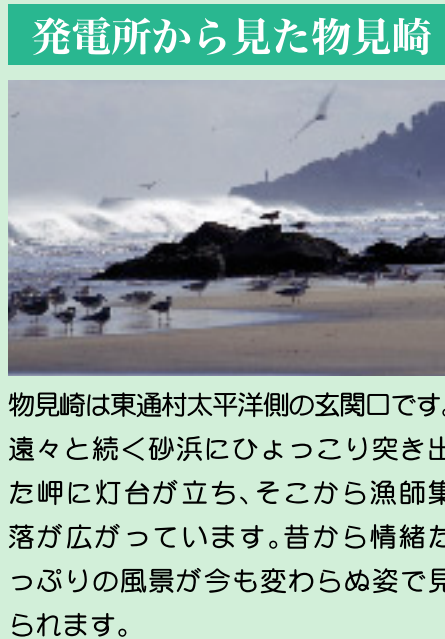
当時の東田さん



元気に仕事をしている東田さん

「しおさい」表紙で感じる東通村の魅力

皆さまから好評をいた
で表現しています。魅力



だいている広報誌「しおさい」の表紙。東通村の風景や風物詩をやわらかい水彩タッチあふれる地元ならではの四季。目を閉じると豊かな自然の息吹が聞こえてきそうです。

そばの脱穀風景



秋、野山の景色が色付く頃、里の畑ではそばの収穫が始まります。実ったそばを手鎌で1本1本丁寧に刈り取り、秋の日差しと爽やかな風でじっくり乾燥させます。その脇では農家の女性がマツカ棒で軽くたたき、そばの実を落としていました。



片崎山の山ツツジの群生



尻笥、小田野沢線沿いにある片崎山にはツツジの群生が広がっています。太平洋と猿ヶ森砂丘の広大なパノラマを堪能でき、周囲の若草色に相対する山ツツジのピンクの彩りは、太平洋の藍と交わって大自然の造った本物の美しさです。

新緑の老部川で溪流釣り



東通村には溪流釣りファンに広く知られた老部川があります。深い沢からの清流にはイワナ、ヤマメの釣りポイントも豊富です。新緑の眩しい緑、そしてそこに育つ動植物を一人一人の優しい心と大切にしたい心で守っていききたいものです。



初冬の尻屋崎



尻屋崎の冬は長く厳しい。草原を吹きすさぶ風雪、太平洋の荒波、言葉では言い尽くせない厳しさです。しかし、その厳しさに耐え黙々と生きぬく動物がいます。寒立馬です。地表に見えるのは白亜の灯台と力強い寒立馬だけなのです。

鮭の定置網漁



秋本番、東通村では「下北のさけ」として全国に知られる鮭漁が始まります。太平洋に網を仕掛け一定の期間を置いて水揚げする漁で、鮭の重さで船が傾きながらも網を引く漁師さんたちの力強さが感動を与える風景です。



昔ながらの田植え風景



雪も消えこぶしの花が咲く頃、田んぼ作業は本番です。今は機械化されていますが、田植えは最も大事な行事とされ、家族総出で行ったものです。手で一株一株丁寧に植えるため、近所から手伝い人も沢山迎えていました。

下北地方に古くから伝わる郷土料理「べこもち」。今回は特別企画として「べこもち」たんぼぼ作りをご紹介します。ぜひ、ご家庭で作ってみて下さいね!!

郷土料理「べこもち」

カン・タン! レシピ!!



- 材料／もち米粉とうるち米粉の混合(1:1)1.5kg／打ち粉少々／砂糖330g／塩大さじ1/2／熱湯1.5カップ／色粉(赤・黄・緑・コーヒーマグ)各少々
- 道具／ボール／へら／包丁／下に敷くもの(まな板、ビニールシートでも可)／蒸し器
- ※ビニール袋やビニール手袋があると便利です。

基本編

- ①もち米粉とうるち米粉を合わせたものに、砂糖、塩を入れて混ぜます。混ぜたものに熱湯を入れ、へらで混ぜます。(熱湯の基準は1.5カップですが、様子を見ながら足して下さい。)



- ②耳たぶくらいの柔らかさになるようこねます。



- ③出来上がった餅の1/3にそれぞれの色を付けます。残りの餅は乾いてしまわないようビニール袋にいれておきます。(赤色:花びらの芯、黄色:花びら、茶色:花びらの周り、緑色:葉っぱ)



花びら編

- ①黄色の餅の周りに薄く切った茶色の餅を貼り付けます。



- ②①を約50cmの棒状に伸ばし、断面が花びらの形になるよう片方を少しつぶしながら形を整え、その後、餅を10等分にします。



- ③約5cmの棒状にした赤色の餅を芯にして花びらを周りにくっつけていきます。



- ④花びらに隙間がある場合は、白色の餅でうめます。



- ⑤約20cmの棒状に伸ばし2等分にします。



葉っぱ編

- ①緑色の餅を花びら編で作った餅の長さと同じくらいに伸ばし、葉の茎になるようあらかじめ厚さ約5mmに2枚切っておきます。



- ②残りの餅を四角にまとめ、片方をつぶし、4ヶ所斜めに切り込みをいれ、白色の餅をはさみます。



- ③半分に切り、薄く切った白色の餅をはさみ、花の2倍の長さに伸ばして2等分にします。



完成編

- ①残った白色の餅を四角に伸ばし、斜めに切り、片方をひっくり返します。



- ②葉をのせ、約5mm幅に薄く切った白色の餅を重ね、茎の部分のをせます。(隙間は白色の餅でうめます)



- ③最後に花の部分のをせ、白色の餅を薄く切りながら、花の周りに重ねていきます。



- ④全体に伸ばし、形を整え1cmぐらいの厚さに切り、蒸し器で約10～15分蒸して完成です。



Point

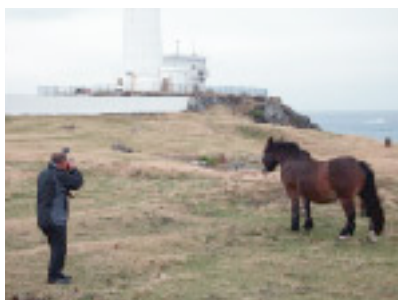
- ①餅同士をくっつける時は水をつけます。
- ②まな板等にくっつかないよう打ち粉を使います。
- ③白色の餅を使って出来るだけ隙間がないように作ります。

年に2回発行している広報誌「しおさい」。今回は節目の第10号の発刊ということで、一からの企画でスタートしました。今までいただいた読者の皆さまの声を再度読み返し、「東通村に住んでいながら知らないところがあった。」「東通村の良いところを違う目線で見ることができた」など、私たちがお伝えしたい「東通村の良さを再発見・再認識するとともに、地域の誇りを共有する広報誌」が皆さんに少しでもお役に立っているとうれしく感じました。このコーナーでは広報誌「しおさい」をどのように制作しているのか、その一コマをお知らせします。



今回の記念号の特別企画にあたって、東通村郷土芸能保存連合会の宮川会長（左）はじめ、多くの方からご協力をいただきました。

地元の特派員レポートを担当してくれた蛸名大和くん。この数日後には福島県での中学校ゴルフ大会に参加するとのことでした。しっかりした受け答えが印象的でした。



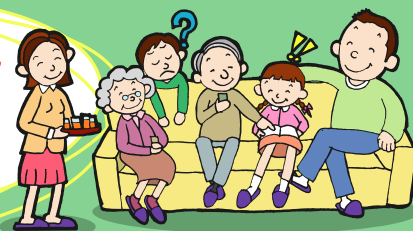
「東通村の良いところをしっかりと伝えていこう」という気持ちは、制作するみんなの共通認識。気の優しい寒立馬も協力してくれました。

クイズ!なるほど「ザ・方言」に応募された正解者から抽選をし景品をプレゼント。前回vol9での抽選の一コマです。さて今回の当選者は……。たくさんのご応募お待ちしております。



地元の皆さんは
すぐわかるよね

クイズ!なるほど 「ザ・方言」



特別記念号プレゼント



今回は高寿命で
低消費電力の
LED電球を
抽選で20名様へ
プレゼントします。

東通村(下北地方)には、いろいろな方言が残っているよ。下記の番号を方言で考えて、○に入る言葉を並べかえると、下北のある地名になるよ。さて、どこでしょう?

問題

ヒント

ここには日本でも有名な灯台があるよ!

- | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|
| ① きかん坊 | ゆ | ○ | で | ○ | ○ |
| ② 家の財産を無くする | ○ | ○ | ○ | け | ○ |
| ③ たくさん | ○ | う | ○ | ○ | ○ |
| ④ ひざ小僧 | ○ | じ | ○ | ○ | ぶ |
| ⑤ 寄りかかる | よ | ○ | か | ○ | ○ |
| ⑥ 大きくなる | ○ | が | ○ | ○ | ○ |

応募方法

折り込みの応募ハガキにクイズの答え、氏名、年齢、住所、電話番号そして当広報誌「しおさい」についてのご意見、ご感想をお書きの上、ご応募ください。今回は正解者の中から抽選で20名様へLED電球をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。
応募締切/平成23年2月28日(月)消印有効

前回の答え
(vol.9H22年6月発行) い し わ ら び だ い ら でした。

- | | | | | |
|---------|---|---|---|-----|
| ① かわいい | め | ん | こ | い |
| ② 乱暴な | ら | ん | ち | や |
| ③ 行く途中 | い | ぎ | し | ま |
| ④ 丸ごと全部 | も | ん | ず | ら |
| ⑤ 心地よい | あ | ず | ま | し い |
| ⑥ カエル | び | っ | き | |
| ⑦ 体裁が悪い | ふ | う | わ | り い |
| ⑧ 片方 | か | だ | が | だ |

多数のご応募ありがとうございました。



日本のエネルギー自給率はたったの4%

世界では、これからもエネルギー消費がますます増えていくことが予想されます。石油、石炭、天然ガス、ウラン…。限りある大切な資源、これからの未来のために、みんなでエネルギーのことを考えてみませんか。

石油、石炭などのエネルギー資源は限りがあるんです

日本はエネルギー資源の約96%（原子力を国産とした場合は約82%※）を輸入に頼っています。そして石油や石炭など世界のエネルギー資源には限りがあります。今後、経済成長によって世界のエネルギー需要の増加が予想されることから、省資源、省エネルギーに努めていく必要があります。

※原子力は一度輸入すると長期間使用できることおよび再利用できることから準国産エネルギーとして扱われます。

電源をバランスよく組み合わせたベストミックス

エネルギー資源の乏しい日本では、過去に2回起こった石油危機を教訓として、特定のエネルギー資源に依存するのではなく、原子力をはじめとしたそれぞれの電源の特性を活かしながら、バランスのよい電源構成「電源のベストミックス」に取り組んでいます。

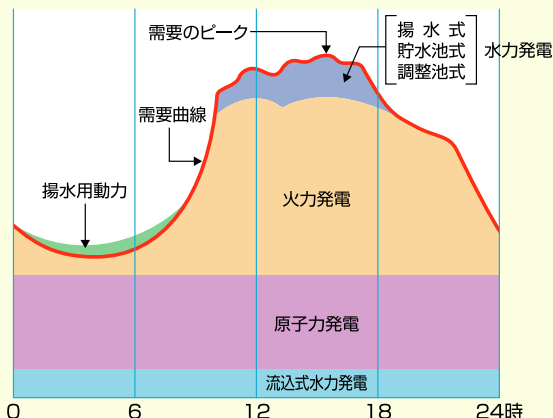
〔世界のエネルギー資源確認可採埋蔵量〕



●石油、天然ガス、石炭可採埋蔵量＝確認可採埋蔵量／年間生産量…出典(1)
●ウラン可採埋蔵量＝確認可採埋蔵量／2006年消費量(原子力発電実績(2,675 TWh)に基づく)…出典(2)

出典：(1)BP統計2009 (2)NEA「URANIUM2007」

〔需要の変化に対応した電源の組み合わせ〕



出典：資源エネルギー庁「原子力2010」

読者からの声

vol.9に皆さまからたくさんのご意見、ご感想をお寄せいただきました。大変ありがとうございました。

●岩屋在住 Sさん

何時も身近な情報に、改めて我が東通村の素晴らしさを感じている(させて頂いている)。気付かずにいる良さを気付かせてくれる記事に感謝です！

●白糠在住 Aさん

ブルーベリーのチーズケーキをお母さんと一緒に作りました。すごくおいしかったです。

●野牛在住 Kさん

今回のザ・方言、なかなか難しくて何日も考えてもわからなかったのが、職場の人達に話したら2/3の方がクイズなるほどに頭をかかえて考えていました。ということは…、8字のある長い集落名は東通村のいったいどこなのか…、さっぱりわからへんでした。いつも言っている地名は「いしわらび」の5字だけでしたので、本当は「いしわらびだら」とわかり勉強になりました。

●猿ヶ森在住 Tさん

啄木がふるさとを愛した如く、表紙の光景に深い郷愁を感じました。また誌名の「しおさい」。ここ猿ヶ森地区には、かつて有名な

雄大な猿ヶ森砂丘がありました。少年期よく遊んだ場所です。はまなすの咲く頃、わんぱく坊主達が時間のたつのも忘れ、風紋美しき砂丘で戯れ、洋々たる太平洋に点在する漁船、はるか沖を渡る貨物船でしょうか？また、潮騒がとどけてくれるのでしょうか、潮の香り、浜ひるがあの可憐な佇まい、懐古の情。そのような心境で「しおさい」を拝見させて頂きました。

●砂子又在住 Mさん

表紙も良かったのですが、たとえば、半分ずつにして、「今、昔」が良かったかなと。今回も楽しく見させていただきました。次回も楽しみに待っています。

広報誌「しおさい」についてのご意見・ご感想をお待ちしております。

発行

東北電力(株)東通原子力発電所広報課

〒039-4293 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34番4
TEL0175-46-2225・FAX0175-46-2227

誌名「しおさい」について

★東通村で絶えることなく聞こえる心地よい波の音(しおさい)のように、皆さまの心に長く心地よく響き続ける広報誌でありたいという思いを込めています。



この冊子は、環境にやさしい「植物性大豆油インキ」「植林木」を使用しています。

編集後記

年に2回発行している広報誌「しおさい」も、今回で10回目の発行となりました。

節目の号の発行にあたり、これまでの5年間の足跡を振り返るとともに、風物詩、郷土料理などのご紹介のほか、今回初めて、東通村に代々伝わる民俗芸能を特集しました。

制作にあたっては、様々な方から言い尽くせないほどのご協力を賜りました。本当にありがとうございました。また、創刊から5年間、無事発行を継続することができたのも、ひとえに皆さまからの貴重なご意見と温かい励ましのおかげであると、改めて感じています。

これからも皆さまにご愛読いただける広報誌でありますよう努めてまいりますので、引き続き応援よろしくお願い致します。